

平成19年度 兵庫県立学校教員の長期社会体験研修を終えて

兵庫県立氷上高等学校 教諭 松本 安弘

1 研修先

NPO 法人北播磨市民活動支援センター (小野市中島町 72 番地)

2 研修先の概要

小野市中心にあるホール・会議室・スタジオ等を備えた多目的施設で職員数 41 名

3 研修期間

平成19年7月26日～8月25日 (1ヶ月)

4 研修内容

うるおい交流館エクラは、建物は小野市が建設、指定管理者制度で NPO 法人北播磨市民活動支援センターが管理・運営を行っている。日常的に行ったのは窓口業務 (来客者への対応、パソコンによる当日および予約の貸館処理等、サロンの人の動きを見ながらの安全管理も行う。) と施設管理 (外周りの清掃および会議室等のチェックを随時行う。) である。さらに、警備・清掃について研修を受けた職員がおり、1 日体験的にそれぞれについての指導をみっちり受けた。

また、センターは様々な事業の運営、子育て支援事業では中高生託児研修、ホール運営ではガルコンサート、受託事業では小野まつり事務局等などを行い、それぞれに所属し研修を受けた。

5 研修を終えて

理事長は会社経営者でボランティア、職員は 41 名で 2 名が正職員、39 名は契約職員であるが警備・清掃・喫茶まで職員が担当している。最初感じたことは、職員全員が同じ事ができそれぞれの意識が高いことである。朝・昼のミーティングでの情報の共有、声だしあいさつ・スローガン唱和などにおいては職員集団の一体感を感じた。業務も多岐にわたっており、私が主に行ったのは、窓口業務と施設管理である。さらに、小野まつり事務局等の研修も行った。とにかく“習うより慣れる”、で経験するほどうまくいくものである。体験が重要だと再認識した。警備と清掃も 1 日体験ということで研修を受けた職員に指導を受けたが、141 のチェック項目があり、丁寧な清掃などは学校でも取り入れたいところである。

他の市町からの視察訪問も多く、少子高齢化が進み税収が減っていく将来に向けて、エクラ方式は 1 つの成功例であると思われる。今後このような施設が増えていくことを期待する。



(窓口業務)



(ホールの清掃)